

【街路事業（県事業） 再評価審議資料】

- 再評価実施箇所一覧表 . . . p. 1
- 再評価対象地区に係る事業制度・費用対効果の分析について . . . p. 3
- 再評価実施箇所（附図） . . . p. 5
- 説明資料（パワーポイント）
  - ⑥ 街路事業  
「都市計画道路 大野揖斐川線 相羽工区」 . . . p. 7



令和4年度 再評価対象箇所一覧表 11月16日審議箇所

〔都市建設部 都市整備課〕

番号	事業名 (補助/交付金/県庫)	路線・地区 ・河川名等	実施箇所 (市町村名)	採択 年度	完了 予定 年度	事業概要			全体事業費 (百万円) 用地補償費 工事費等	実施済み額 (百万円) 用地補償費 工事費等	進捗率 (%)		経過年数 (R5.3現在)	政策との 位置付け	関連事業の進 捗状況	社会経済情勢 等の変化及び 地元意向	環境との調 和への配慮 事項	事業費縮減	費用対効 果分析	対応方針 (案)	特記事 項
						全体事業量 (km)	実施済事業量 (km)	事業 実施率			用地補償費	工事費等									
6	街路事業 (交付金)	都市計画道路 大野指斐川線 相羽工区	大野町	H24	R7	1.08	0.63	58.3%	1,800 708 1,091	1,436 575 861	79.8% 81.2% 78.9%	11	都市の骨格を 形成する街路 事業の推進	-	-	周辺施設への アクセシビリティ 向上等に 伴う整備 推進	-	現場発生土 の流用によ る処分費縮 減	1.5 (4.4)	継続	前回 再評価 H29

費用対効果分析：( )は前回新規採択評価時の投資効果率



令和4年度 再評価対象地区に係る事業制度・費用対効果の分析について


課名 都市整備課

○事業制度について	事業名	街路事業	
	事業目的	都市における円滑な交通の確保、豊かな公共空間を備えた良好な市街地の形成を図り、安全で快適な都市生活と機能的な都市活動に寄与すること	
	採択基準	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域住民の日常生活の安全性若しくは利便性の向上を図るために必要であり、又は快適な生活環境の確保若しくは地域の活力の創造に資すると認められるものであること。</li> <li>・公共施設その他の公益的施設の整備、管理若しくは運営に関連して、又は地域の自然的若しくは社会的な特性に即して行われるものであること。</li> </ul>	
	概要 (メニュー)	<p>都市計画決定された道路（都市計画道路）を整備する事業で「都市計画法」に基づき、主に既成市街地（用途区域）内において実施する次のもの。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・都市計画道路の拡幅や線形改良またはバイパス等の建設</li> <li>・鉄道の連続及び単独の立体交差化（踏切除却など）</li> <li>・交通結節点整備（駅または駅前広場など）</li> <li>・電線類の地中化（電線共同溝など）</li> </ul>	
○費用対効果の分析について	効果の項目	うち貨幣換算する項目 《B》	<ul style="list-style-type: none"> <li>・走行時間短縮便益 道路の整備・改良が行われない場合の総走行時間費用から、道路の整備・改良が行われる場合の総走行時間費用を減じた差</li> <li>・走行経費減少便益 道路の整備・改良が行われない場合の走行経費から、道路の整備・改良が行われる場合の走行経費を減じた差</li> <li>・交通事故減少便益 道路の整備・改良が行われない場合の交通事故による社会的損失から、道路の整備・改良が行われる場合の交通事故による社会的損失を減じた差</li> </ul>
		その他項目	
*費用便益 B/C*	費用 《C》 の算定	<p>費用の算定＝道路整備に要する事業費＋維持管理に要する費用 ここで、道路整備に要する事業費とは工事費、用地費、補償費、間接経費である。 費用及び便益の前提</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・検討年数：50年（道路施設の耐用年数等を考慮して設定）</li> <li>・基準年次：評価時点</li> <li>・社会的割引：4%（国債等の実質利回りを参考値として設定）</li> </ul>	
	費用便益比の 基準	費用便益比（B/C）が1.0以上	



# 令和4年度 再評価実施箇所（附図）

担当課〔都市整備課〕

番 号	6	事業名 (路線・河川名等)	街路事業 都市計画道路 大野揖斐川線 相羽工区
事業実施箇所	いびぐんおおのちょうあいば 揖斐郡大野町相羽 ～いびぐんおおのちょうろくり ～揖斐郡大野町六里		事業主体 岐阜県
採択年度	平成24年度	完了予定年度	令和7年度
再評価の実施基準	再評価を実施した後5年が経過した時点で継続中の事業		
事業目的	<p>(都)大野揖斐川線は、(国)303号と揖斐郡大野町相羽地内で接続し、揖斐郡揖斐川町までを結ぶ延長約9.1kmの幹線道路であり、大野町都市計画マスタープランでは、大野町と周辺都市および町内各地域を結ぶ機能を有する都市連携軸を形成する路線として位置付けられている。</p> <p>本事業はこのうち、揖斐郡大野町相羽から揖斐郡大野町六里に至る延長約1.1kmを整備するものであり、東海環状自動車道とのアクセス向上、並行する(国)303号の混雑緩和による円滑な交通の確保、安全で快適な歩行空間の確保、災害時に有効に機能するネットワークの確保を目的としている。</p>		
事業概要	<p>計画延長 L = 1,082m</p> <p>計画幅員 W = 18.0m (車道幅員 : 3.25m × 2車線、歩道幅員 : 3.50m)</p>		
概要図	  <p>写真①</p>  <p>写真②</p>  <p>(都)大野揖斐川線 相羽工区 L=1,082m</p> <p>終点 揖斐郡大野町六里</p> <p>起点 揖斐郡大野町相羽</p> <p>(C) 岐阜県</p>		





# 事業再評価 街路事業

## 都市計画道路 大野揖斐川線 おおの いびがわ

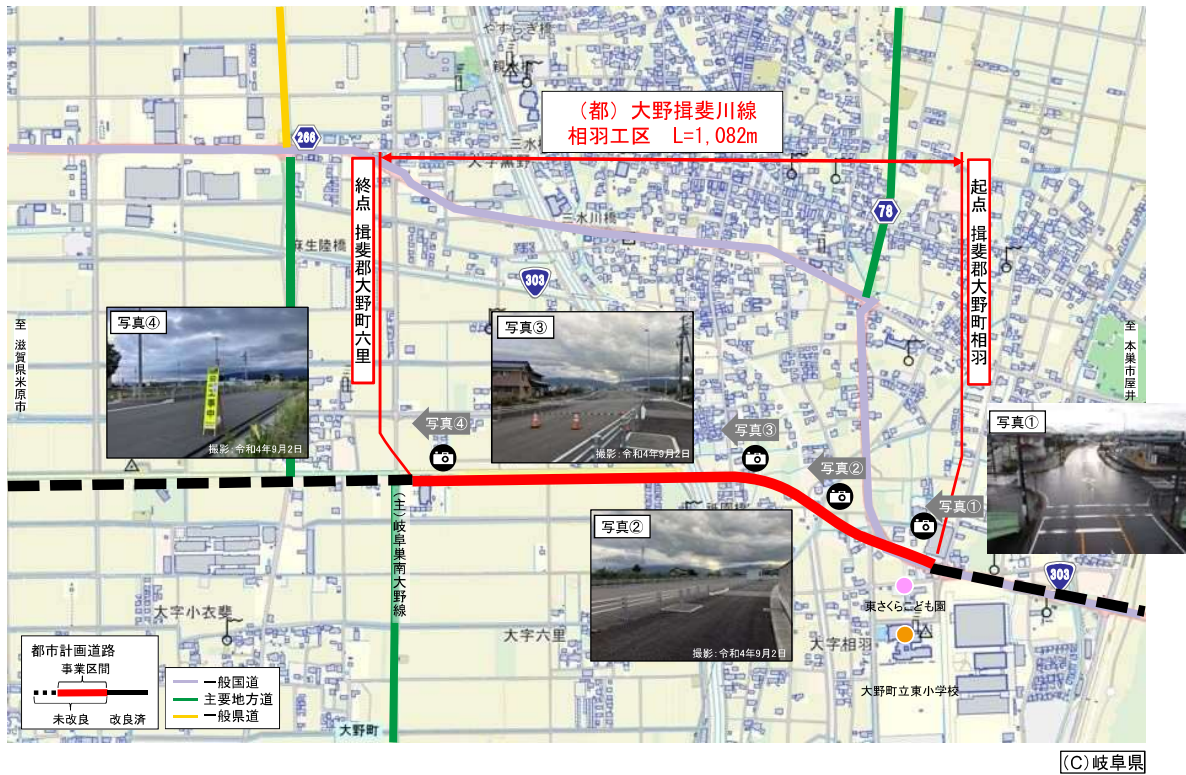
### 相羽工区

都市建築部 都市整備課  
令和4年11月16日



(C)岐阜県

## 位置図②



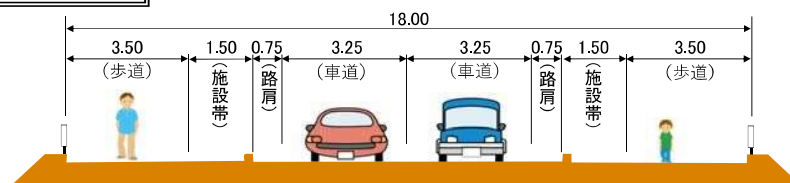
2

## 事業概要

- ◆起 終 点：揖斐郡大野町相羽～揖斐郡大野町六里
- ◆全体延長：1,082m
- ◆総事業費：約18億円
- ◆事業着手：平成24年度
- ◆完成予定：令和7年度
- ◆道路規格：第3種第2級
- ◆幅 員：車道 3.25m×2車線  
：歩道 3.5m（両側）

### 標準横断図

(一般部)  
単位:m



3



# 事業の目的①

## ◆東海環状自動車道へのアクセス向上と地域振興の支援

- 東海環状自動車道大野神戸IC、（仮称）糸貫ICへのアクセスが向上
- 道の駅パレットピアおおのを始めとした観光地のほか、揖斐川町や大野町の市街地へのアクセスが向上することで、地域振興を支援

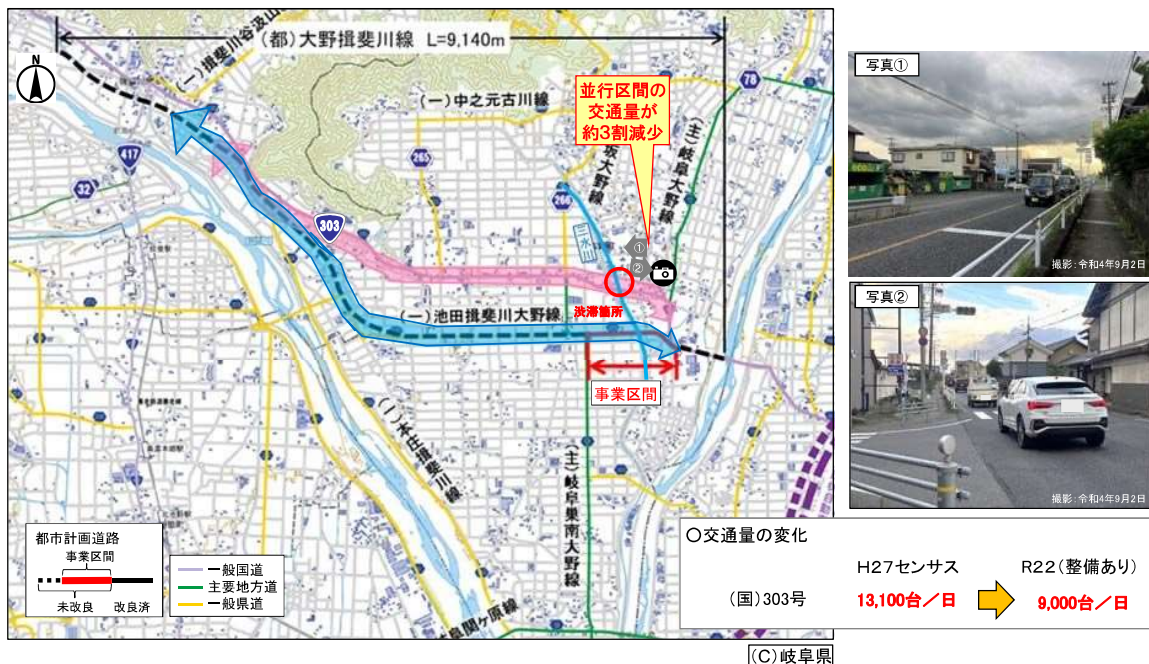


4

# 事業の目的②

## ◆並行路線の混雑緩和・円滑な交通の確保

- 主要幹線道路である国道303号の三水川付近では、朝夕を中心に渋滞が発生
- （都）大野揖斐川線の整備により交通の分散・円滑化が期待される



5



## 事業の目的③

### ◆安全・安心で快適な歩行空間の確保

- 事業区間周辺では、幅員が狭く歩道が設置されていない橋梁が通学路に指定されており、歩行者等の安全性が確保できていない
- 歩道の整備により、安全で快適な歩行空間の確保



6

## 事業の目的④

### ◆災害時に有効に機能するネットワークの確保

- 「災害時応急対策用資機材備蓄拠点：(揖斐拠点)」や広域防災拠点である道の駅パレットピアおおのといった防災施設や、令和5年開業予定の西濃厚生病院といった医療施設へのネットワークを強化



【災害時応急対策用資機材備蓄拠点】  
道路等の公共土木施設の応急対策に必要な資機材を調達し、備蓄する拠点



<備蓄する主な資機材>大型土のう袋、ブルーシート、  
連節ブロック、根固ブロック、袋詰玉石、発電機、投光機等

7



# 事業を巡る社会経済情勢等の変化

■大野神戸 I C 周辺では神戸町で土地区画整理事業が進められており、大野町では大手技術開発型企業の工場立地も計画されるなど、東海環状自動車道へのアクセス向上が求められる。



8

# 事業の進捗状況

全体進捗率 80%

用地補償進捗率 81%

工事進捗率 79%



9

## コスト縮減の取り組み

- ・現場発生土の流用等によるコスト縮減の取組みを計画段階から取り入れ、最適な計画で工事を実施中

※設計段階において、施工性、安全性、経済性などの項目について、比較検討を実施している

10

## 費用対効果分析

### 事業の効果

- 走行時間短縮便益 …… 効果全体の約 8.4%
- 走行経費減少便益 …… 効果全体の約 1.4%
- 交通事故減少便益 …… 効果全体の約 2%

### 投資的効果率

$$\frac{\text{総便益 (B)}}{\text{総費用 (C)}} = 1.5 \left[ \begin{array}{l} \text{前回再評価時} \\ \text{(平成29年度)} \\ \text{4.4} \end{array} \right]$$

※費用便益分析マニュアル（国土交通省 令和4年2月）に基づき算出

11

## 対応方針（案）

○（都）大野揖斐川線の完成は、東海環状自動車道へのアクセス向上、周辺道路の円滑な交通の確保、安全・安心で快適な歩行空間の確保、災害時に有効に機能するネットワークの確保などに大きく寄与する。

○地元住民及び関係市町から事業の継続、早期完成の強い要望がある。



**＝事業継続＝**

**令和4年度 第5回  
岐阜県事業評価監視委員会  
費用対効果分析資料**

**■事業名**

街路事業「都市計画道路 大野揖斐川線 相羽工区」

**■事業内容**

延長L=1082m、車道幅員3.25m×2車線、施設帯1.50×2、歩道幅員3.50m×2

**■費用対効果分析結果**

区分		前回	今回	備考
		(基準年：H29)	(基準年：R4)	
事業期間		H24～R4	H24～R7	
費用 (億円)	事業費	13.0	19.4	
	維持管理費	0.4	0.3	
	合計 (C)	13.4	19.7	
	効果 (億円)			
	走行時間短縮便益	55.7	24.5	
	走行経費減少便益	2.7	4.1	
	交通事故減少便益	1.0	0.5	
	合計 (B)	59.4	29.1	
費用対効果分析結果 (B/C)		4.4	1.5	

※金額は、社会的割引率（4%）を用いて現在の価値に換算したもの。

**■費用対効果分析の分析方法**

・費用便益分析マニュアル／国土交通省 道路局 都市局/R4.2

**■費用対効果分析結果の要因変化**

**【費用】【C=+6.3億円】**

- ・町道との取付の高さを抑えるための橋梁形式変更による影響
- ・費用を現在価値化する際の基準年を平成29年から令和4年に変更したことによる影響
- ・事業期間が延長されたことによる影響（完成年度R2→R7）

**【便益】【B=-30.3億円】**

- ・将来OD表の見直し（H17→H27）による便益影響範囲の減少
- ・将来OD表の見直し（H17→H27）による計画交通量の減少